

和みの散歩道の会 活動視察

- 日 時:平成 26 年9月 21 日(日) 午前 10 時～午前 11 時
- 場 所:池内猪高線高架下 和みの散歩道

【和みの散歩道の会について】

平成25年に都市計画道路である池内猪高線が開通しました。同時に、その高架下に住民の意見を取り入れて整備された魅力的な散歩道ができました。それが「和みの散歩道」です。この高架下の空間をまちの負の遺産とせず、誇りと愛着が持てる資源として発展させるための活動が「和みの散歩道の会」を中心として地域住民の協力の下、行われています。

【活動の様子】

和みの散歩道の会の「ザ・和みの散歩道祭」に行ってきました。当日は近くで行われている縁日があり、駅から参道にかけてたくさんの人出で賑わっていました。

この縁日の賑わいにかけて「ザ・和みの散歩道祭」の日程を調整されたとのことで、矢印看板を持ってイベント会場を案内するスタッフが立っており、迷わずに到着することができました。

歩いていると汗がにじみ出るくらいの、ほんのりと暑い日でしたが高架下散歩道は日陰になっており、過ごしやすいイベント会場でした。

高架下に沿ってスラッと並ぶイベントには、特設会場によるコンサートから始まりアート作品の展示、親子で参加するワークショップと、様々なものがありました。



都市計画道路
「池内猪高線」高架下の会場



コンサート会場の様子



会員によるアート作品の展示と
それを鑑賞する人々

高架下とは思えないとても素敵な
展示スペースでした

被災地の方々の作品も
展示され、支援のバザーも
行われていました



がんばろそ大船渡



親子でつくるマイマイハウスの様子



受付で談笑するメンバー

メンバーの手で植えられた花や緑と煉瓦で整備された高架下は、いわゆる高架下のイメージを覆すもので、とても豊かで美しい景観でした。

また、愛知工業大学名電高校吹奏楽部による演奏や、瀬戸の森withフレンズによるギター・マンドリン・バンジョーの演奏、愛知の大船渡踊り隊(震災復興支援グループ)による踊りなど盛りだくさんのイベントが行われました。

地域の景観を守り、景観を活かそうとするメンバーの地域への思いが感じられるイベントでした。この活動が地域の人々の心を益々豊かにし、今後も発展していくことを期待しています。

～短パンまんの感想～



高架下と坂道をうまく利用してイベントが展開されている印象を受けました。高架下に沿って細長く賑わいが連なっていたので、散歩道であるだけに歩いて巡る楽しさがありました。歌声から小さい子供たちの歓声まで楽しげな声が入り混じり、私の中にあつた従来の高架下の暗いイメージを微塵も感じさせない雰囲気は漂っていました。

子どもたちと年配の人との交流の場となり、加えてまちの人たちの日頃の成果を披露する場ともなっていました。まちづくりにおいてどちらも重要な要素だと思います。この要素を見失わずに今後のますますの発展を願います。

～にやにやの感想～



坂道の階段を降り、この地を見たとき、高架下のイメージが一変しました。地域の住民の思いと努力でここまで美しく素敵な場所になることに素直に感動しました。

また、趣のある煉瓦は鍋屋上野浄水場ろ過池の煉瓦の廃物利用だと知り更に驚きました。本当に散歩したくなるような素敵な場所をこれからも活かし、素晴らしい地域交流が生まれることを願います。